

平成19年度 事務事業評価表	担当	消防本部 総務課	内線等	99(2012)
事務事業名	防災活動事業		事業コード	1. 一般事務事業(ソト事業)
根拠法令等	蒲郡市防災会議条例		B 条例	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	防災
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市民に対し
手 段	消防団員が水防訓練及び防潮ひ門の操作点検を実施することで
想定する成果	風水害に対し速やかな対応が可能となり、最小限の被害に止める。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
水防訓練参加者数	1回	1回	1回
参加者数	168人	197人	203人
ひ門操作点検	12回 (月1回)	12回 (月1回)	12回 (月1回)
年間参加者数	1,567人	1,634人	

成果指標

成果指標名	水防訓練参加率	防潮ひ門操作点検参加率
成果指標の説明	参加者数 / 団員数(362人) × 100	年間参加者数 / 乗車定員(27台 × 8人 × 12月) × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		46.41%				54.42%				56.08%			
成果指標		60.46%				63.04%							
事業費	事業費	3,191				3,472				3,431			
	人件費	7,784				7,810				7,845			
	(人数)	正規	1.0	非常勤		正規	1.0	非常勤		正規	1.0	非常勤	
	合計	10,975				11,282				11,276			
財源内訳	国												
	県	1,760				1,634				1,634			
	市債												
	その他												
	一般財源	9,215				9,648				9,642			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	3	2	年々、水防訓練及び防潮ひ門操作点検への参加率が高くなっている。
経済効率性	2	2	2	2	投入された予算に、ほぼ見合った成果を挙げている。
事務効率性	2	2	2	2	投入された人員に、ほぼ見合った成果を挙げている。
必要性	3	3	3	3	限られた時間内で約150の防潮ひ門を操作するには、維持管理と訓練が必要である。
小計	9	9	10	9	
施策への貢献度	2	-	3	-	災害対応は個々の力では困難である。人力、知識、団結を持つことで最小の被害に押さえることができる。
合計	11	9	13	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
ひ門操作において、人員を必要とする「角落とし」の改善を管理者に要求する。
上記改善点の実施状況
市民の生活に影響を及ぼさない部分の「角落とし」を廃止した。

今後さらに改善すべき点

残る「角落とし」の廃止、若しくは人手を必要としない防潮ひ門への移行を要求する。

平成21年度予算に反映する項目

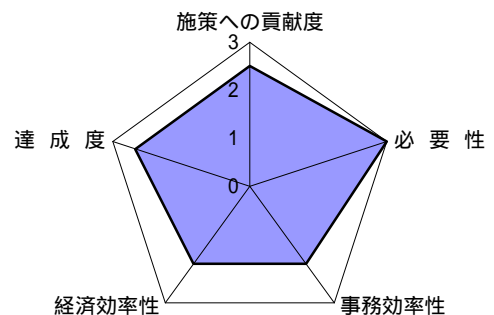
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点